

La Petite Empreinte

ラ・プティト・アンプラント



ラ・プティト・アンプラント=小さな一歩と訳せるだろうか。ローヌ=アルプ地域圏、ドローム県出身のメリッサと、90年代から独創的なシャブリを造るアリス・エ・オリヴィエ・ド・ムール夫妻の息子、ロマンのカップルのワイナリー。二人が知り合ったのはジュラのとあるワイナリーでお互いに働いていた時のこと。それまでは各々自分の興味のあるスタイルのワイナリーで経験を積んでいた。メリッサは、地元からも近いアルデッシュの造り手たち、ロマンはボジョレのラピエール、そしてジュラのラベヤガヌヴァのもとで経験を積んできた。

2020年に、ブルゴーニュ北部のサン・ブリのエリアに1haに満たない畑を購入し、メリッサとロマンの二人は自身のワイン造りを始める。購入した畑は、ピオロジック栽培に転換したばかり、セラーもアリス・エ・オリヴィエ・ド・ムールのセラーを一部間借りして醸造しているが、もちろん彼らのワイン造りにド・ムール夫妻が口を挟むことはない。

	<p>○Saint Bris - Persévérance サン・ブリ ペルセヴェランス</p>		備考	<p>Persévérance=忍耐、というキュヴェ名にどのような思いが込められているのか。初年度の2020VTは果汁の1/4だけ1週間ほどマセレーションを試した。亜硫酸無添加、マロラクティック醗酵をしている。近年の気候もあまった、リッチなスタイル。</p>
畑	<p>品種：ソーヴィニオン・ブラン 樹齢：1960年代 土壌：泥灰土（マルヌ・ブランシュ）</p>	醸造 樽醗酵、一部マセレーション 木製樽で10カ月間熟成		
	<p>●Bourgogne Côtes d'Auxerre - Tapis Rouge ブルゴーニュ・コート・ドセール タピ・ルージュ</p>		備考	<p>全房発酵らしい少し淡い色合い。果実味の前面に出た軽快な味筋。ヨンヌ県のサン=ブリ=ル=ヴィヌール=Saint-Bris-le-Vineux に位置する畑。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール 樹齢：1978年 位置：南向き 土壌：粘土石灰質</p>	醸造 20日程度の全房マセレーション 木製樽で8~11カ月間熟成		
	<p>●Coteaux Bourguignons - Mas a Tierra コトー・ブルギニオン マス・ア・ティエツラ</p>		備考	<p>ヨンヌ県のヴァンスロット Vincelottesに位置する畑。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール 樹齢：1990年代 位置：西向き 土壌：粘土石灰質</p>	醸造 30日間の全房マセレーション 木製樽で11カ月間熟成		
	<p>●Coteaux Bourguignons - Gamay コトー・ブルギニオン ガメ</p>		備考	<p>ヨンヌ県のヴァンスロット Vincelottesに位置する畑。マグナムボトルのみの生産。良年のみ造られる。</p>
畑	<p>品種：ガメ 樹齢：1990年代 位置：南向き 土壌：粘土石灰質</p>	醸造 21日間の全房マセレーション 木製樽で11カ月間熟成		